

# シャインマスカットの品種特性に応じた栽培管理技術の習得による品質向上

湖北農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

南浜ぶどう生産組合では平成 22 年よりシャインマスカットの植栽が進み、令和 2 年には全栽培面積の 11% に当たる 66.7a で栽培され、今後も生産が拡大する見込みです。一方、シャインマスカットは全国的に生産量が増えており、他産地に負けない品質の確保が重要です。

そこで、平成 30 年度と令和元年度に設置した実証ほの結果をもとに、品種特性に応じた栽培管理技術の習得と実践を目的に支援しました。

## 【普及活動の内容】

シャインマスカットは欧州系の 2 倍体品種で、組合の主力品種である紅伊豆や藤稔などの巨峰系 4 倍体品種とは特性が異なります。

高品質果生産のため、①果粒の肥大を促進するための開花始期の新梢摘心、②隙間なく果粒が密着した房形とするための軸長調整、③棚下を適切な明るさに保つための副梢管理、④樹勢を強く維持するための施肥管理をポイントとし、個別巡回を中心に活動しました（写真）。中でも、昨年度の出荷実績で秀品率の低かった生産者に対しては重点的に支援を行いました。



写真 果房の状態を確認

## 【普及活動の成果】

出荷量は 4,223kg で、前年の 1.8 倍に増えましたが、平均秀品率は同程度の 75.9% でした（図 1）。

また、前年の出荷者は 8 名で、このうち秀品率が 80% を超えたのは 4 名でした。今年は、初出荷となる 5 名を加えた 13 名が出荷し、秀品率 80% 以上が 5 名、70% 以上が 6 名でした（図 2）。特に、前年秀品率が低かった 4 名のうち 3 名は 70% 以上に向上したことから、高品質果生産の技術が習得され、全体のレベルアップが図れました。

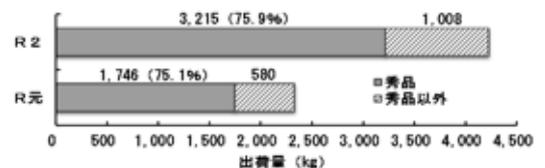


図 1 出荷量と秀品率

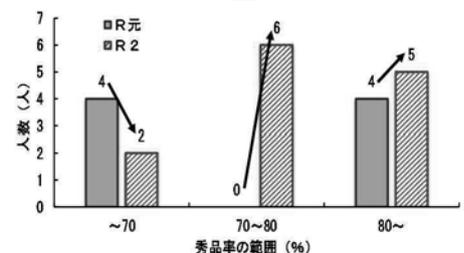


図 2 秀品率と生産者数

### ◎対象者の意見

これからも、シャインマスカットを栽培する生産者も面積も増えるので、引き続き支援をいただきたい（M生産組合 組合長）。